

宗像市市民参画等推進審議会 会議録(会議内容要点筆記)

日 時	令和6年6月6日(木) 9:00 ~
場 所	市役所 103A 会議室
委 員	■ 新井佳代子 ■ 片岡俊輔 □ 鎌田隆徳 ■ 鈴木邦治 ■ 高山國敏 ■ 種田明美 ■ 水島直子 ■ 福岡佐知子 ■ 矢野貴士 ■ 吉村義廣 (五十音順、敬称略)
事務局	コミュニティ協働推進課(高山課長、濱本係長、西山、井上、木下) 元気な島づくり課(丸井係長、立石)

1. 本日のスケジュール等について

事務局から当日のスケジュールや進行等について説明。

2. 宗像市人づくりでまちづくり事業補助金審査会

①団体名 : あかちゃんの育つ環境を守る会・ゆるりんこ

事業名 : はじめのはじめのいっぽセミナー

市関連部署 : 子ども家庭センター

団体から申請内容について説明

(質疑) シェルハブメソッドとはどのようなものか。また、団体の構成員の中にシェルハブメソッドの資格保持者がいるか。

(回答) 子供の発達を後押しする手法であり、団体の構成員の中に資格取得者がいる。

(質疑) 事業の参加者の拡がりやその見込みはあるか。

(回答) 事業を重ねる度に、参加者数は増加しており、前年度の最後に行った同事業では、募集人数を上回る応募があり、事業の拡がりやその見込みはあると考える。また、参加者からは仲間作りができる貴重な場になっているとの評価を受けている。

(質疑) 事業の周知方法で参加者が一番多いものは何か。また、どの地区からの参加者が多いか。

(回答) 口コミの参加が一番多い。また、チラシや SNS からの参加者も一定数いる。また、宗像市の参加者が一番多いが、岡垣町や古賀市からの参加者もいる。

②団体名 : パパママ応援・ネットワークいろり

事業名 : パパママ・応援ペアレントトレーニング

市関連部署 : 子ども支援課

団体から申請内容について説明

(質疑) 事業対象の年齢が広いが、参加者はどの年齢層が多いか。

(回答) 未就学の子供が多いが、子供の成長に合わせて事業の内容等を調整している。

(質疑) 学校等と連携はあるか。

(回答) 昨年度は、教育委員会からの依頼で親子向けの講義を行った。また、予定ではある

が今年度は小学校の職員研修を計画している。

- ③団体名 : special SIBLINGS
事業名 : きょうだい児・親・病気や障がいがある児の仲間作りの場
市関連部署 : 福祉政策課

団体から申請内容について説明

- (意見) “障がい”ではなく”special”、“個性”と捉え活動を行っているのは素晴らしいと考える
(質疑) 今後ますます必要とされる事業だと考えるが、事業の拡がりや展開はどう考えているか。
(回答) ボランティアの数や事業の回数を増やしたり、行政と連携して事業を行ったりすることでその需要に対応する。
(意見) 福岡教育大学やメイトムのボランティアセンター等でボランティアの募集を行うとより良い事業となると考える。
(意見) 活動の様子やその経験をリーフレットのような形で発信、啓発を行うと、きょうだい児自身が自分の意思で集まれる場所になると考える。

- ④団体名 : 特定非営利活動法人 メイクハッピー&ピース
事業名 : フリースペース+(プラス)
市関連部署 : 子ども育成課

団体から申請内容について説明

- (質疑) 子どもの居場所づくり事業が市内で拡がり生まれる為にはどのようなことが必要だと考えるか。
(回答) 子どもの居場所づくりに関わる人が増えることで、その中から新たに、同様の事業を行う人が増えていくと考える為、関係者やその接点を作ることが必要だと考える。
(質疑) 子どもが集まれる場として工夫していることはあるか。
(回答) 参加する子どもに担当のスタッフを付けている。また、場や機会があるだけでは、不十分であり、安心できる人との交流や子どもの興味、関心を知ることが大切だと考える。
(質疑) ボランティアの確保に向けて取り組んでいることはあるか。
(回答) 福岡教育大学の学生がボランティアとして本事業に多数の参加があり、大学の授業等と重ならないように事業を計画している。また、ボランティア側の学びや経験も重視して事業を行っている。
(意見) ボランティアの確保は福岡県が主導で行っているものもある為、そのようなシステムも利用して活動を行って欲しい。

- ⑤団体名 : 宗像歴史観光ボランティアの会
事業名 : 宗像の世界遺産・宗像の観光を楽しく広める
市関連部署 : 世界遺産課

団体から申請内容について説明

(質疑) キッズジョブチャレンジとは何か。

(回答) 国の事業であり、子どもに様々な職業体験の場を提供する事業である。昨年度は、観光案内として子どもを受け入れ、大変好評であった。今年度は、宗像市でキッズジョブチャレンジが行われないが、団体の独自の事業(子どもガイドチャレンジ)として行う予定である。

(意見) 子どもが主体的、探究的に活動を行い、研究から発表まで行うことは、学びの形のモデルケースとなり得ると考える。また、夏休みの自由研究等も活用し、その学びの形が多く为学校に広がるように事業を行って欲しい。

(意見) SNS 等も活用し、情報の発信をお願いしたい。

(質疑) 外国人向けに事業を行う為の工夫はあるか。また、断片的な歴史や情報だけではなく、時代の流れや歴史の背景等を併せて説明できるような工夫はあるか。

(回答) 必要に応じて通訳ボランティアと共に事業を行っている。また、宗像の歴史の流れ等が理解できるような冊子を検討したい。

⑥団体名 : 「てくてくさくらねこ」の会

事業名 : てくてくさくらねこ活動

市関連部署 : 環境課

団体から申請内容について説明

(質疑) 今後の資金確保の計画等はあるか。

(回答) ふるさと寄付金等を活用し、資金の確保を行っている。また、その資金の有効な使い方等も団体内で協議を行っている。

⑦団体名 : ココカライイベント企画室

事業名 : おもいをカタチに！クリエイティブ Fun！Fun！

市関連部署 : コミュニティ協働推進課

団体から申請内容について説明

(意見) 子どもの社会性の育成に繋がる事業であり、非常に重要だと考える。

(意見) 放置竹林などの地域課題にも触れる事業であるならば、現場を知る場や地域問題に関わる人の話を聞ける場なども事業内容に組み込むとよりよくなると考える。

⑧団体名 : ハンドメイド夢 na 形

事業名 : 夢 na 形 (むなかた)「手づくり」コミュニケーション

市関連部署 : コミュニティ協働推進課

団体から申請内容について説明

(質疑) 参加者は当日参加が多いのか。

(回答) 予約制で事業を行っているため、当日参加の参加者はおらず、本事業の為に足を運ぶ人が多い。

(意見) 高齢者が子どもと触れ合う場が減っている中で、そのような機会を創出し、地域と

のつながりづくりにも活かすことができると考える。

(質疑) 今後の事業の継続性の為には、他団体や企業等との連携が必要と考えるが、何か取り組みは計画されているか。

(回答) 広報や会場使用料等で連携や協力できるように検討を行う予定である。

3. 宗像市元気な島づくり事業補助金審査会

- ①団体名 : 認定NPO 法人改革プロジェクト
事業名 : ADVENTURE MUNAKATA in 大島の開催
市関連部署 : 元気な島づくり課、文化スポーツ課

団体から申請内容について説明

(質疑) 回収したごみの処理はどのようにするか

(回答) 別事業で市に協力してもらっているため、本事業も協議を行い、同様にする予定である。

(質疑) 本事業には他補助金や助成金の交付はないか。

(回答) 他補助金や助成金の交付はあるか。

(質疑) 体調不良者の対策はあるか。

(回答) 団体に医療従事者が所属しており、当日メディカルスタッフとして参加する。

- ②団体名 : 響きあうアート宗像実行委員会
事業名 : 「響きあうアート宗像」
市関連部署 : 元気な島づくり課、文化スポーツ課

団体から申請内容について説明

(質疑) チラシは何部作成予定か。

(回答) 約2,000部を予定している。

(質疑) 昨年度の同事業の参加者は何人か。

(回答) 大島の開催のみで約1,100人であった。

- ③団体名 : むなかた大島浜辺らぼ
事業名 : むなかた大島浜辺らぼスタートアップ事業
市関連部署 : 元気な島づくり課

団体から申請内容について説明

(意見) 有識者に販売のノウハウを聞き、事業の継続や自立に向けて、大変だと思うが大いに期待している。

(意見) 渡船費は旅費と区別し、申請様式2に記載をすること。

- ④団体名 : 宗像歴史観光ボランティアの会
事業名 : 大島・地島の世界遺産・歴史文化を楽しく広める
市関連部署 : 元気な島づくり課

団体から申請内容について説明

(意見) 子どもが事業に参加して楽しめるような工夫があると良い。

(意見) 大島・地島の歴史文化の情報発信に力を入れて欲しい。

⑤団体名 : 九州産業大学地域共創学部行平ゼミナール

事業名 : 大島・地島！魅力発信プロジェクト

市関連部署 : 元気な島づくり課、産業政策課

団体から申請内容について説明

(質疑) 学生目線のアイデアは重要だと考えるが、今年度はアイデアが生まれそうか。

(回答) 昨年度は、学生のアイデアややりたいことは多くあったが、実施できたものは1つであった。昨年度のアイデアのままで終わっているものや、今年度の学生のアイデアなど、学生の自由な発想を大切に、事業を行う予定である。

⑥団体名 : 地島再発見し隊

事業名 : 地島の魅力再発見事業

市関連部署 : 元気な島づくり課、コミュニティ協働推進課

団体から申請内容について説明

(質疑) 地島への郷土愛の育成の為にどのような指導を行っているか。

(回答) 体験活動や地域住民との交流などを通じて、子ども自身に何ができるかを考えるようなプログラムとしている。

(質疑) 事業を通じて子どもの変化は感じられるか。

(回答) 数字で表現はできないが、地島について話す時の表情や声色に変化が見られ、地島のことをより自分事として捉えられるようになったと考える。

⑦団体名 : 宗像市立大島学園 PTA

事業名 : 大島ふるさと愛ワクワクプロジェクト

市関連部署 : 元気な島づくり課、コミュニティ協働推進課

団体から申請内容について説明

(質疑) 事業を通じて子どもの変化はあるか。

(回答) 大島の課題や事業に対して、参加の意識ではなく、参画の意識に変化したと考える。

(質疑) 大島と地島間で子どもの交流やつながりはあるか。

(回答) 学校間での交流はある。